

提案書

平成19年9月7日

総務省情報通信政策局地上放送課 御中

郵便番号: 141-0031
(ふりがな): トウキョウトシナガワクニシヨクタンダ
住所: 東京都品川区西五反田 2-28-5
第2 オークラビル
(ふりがな): カブシキガイシャアイムジェイモバイル
会社名: 株式会社 IMJ モバイル
代表者: 代表取締役社長 廣田 武仁
担当者:
電話番号:
電子メールアドレス:

以下のとおり、「携帯端末向けマルチメディア放送サービス等」に関して今後検討が必要と思われる課題について提案を提出します。

<p>1 制度分野</p> <p>新しいマルチメディア放送にあたっては、通信との連携を核とした、魅力的且つインタラクティブティーを持たせたサービスを実現する為に、下記の項目に関しご検討頂きたい。</p> <p>(1) 従来の県域毎の免許制度ではない、全国一律の免許交付制度の検討</p> <p>(2) 無料放送だけではない、有料放送との両立の検討</p> <p>(3) 既存の免許保有者を優遇せず、新規組みも参入しやすい制度体系の検討</p> <p>(4) 音声・図形・映像・データ等の表現形態でマルチメディア放送を定義することなく、真のインタラクティブティーを持たせた放送を実現する為、自由な表現形態を行なえるような放送の定義づけの検討</p>
<p>2 技術分野</p> <p>ユーザビリティを最大限考慮し、通信、特に携帯の特性を生かした、インタラクティブティー重視のサービスを実現する為に、下記の項目に関しご検討頂きたい。</p> <p>(1) ISDB-T、Media FLOに留まらず、ISDB-Tsbの3セグ方式等も含めた複数放送方式の採用の検討</p> <p>(2) 端末への映像・データ等の蓄積が可能な蓄積型放送サービス実装の検討</p> <p>(3) 視聴者の趣味・趣向を反映した番組作り、放送が出来るような機能の検討</p> <p>(4) 更なるユーザビリティを意識した、データ放送と本放送が融合可能なブラウザの仕様検討</p> <p>(5) 視聴者の趣味・趣向を容易に番組側にフィードバック出来る機能の検討</p> <p>(6) PUSH型配信機能の検討</p> <p>(7) 複数の映像チャンネルを同時に配信し、ユーザの志向により切り替えが容易に行なえる機能の検討</p>
<p>3 ビジネスモデル分野</p> <p>これまでの広告を中心とした無料放送モデルから、有料コンテンツや物販等の多様な収益体系を実現するための有料・無料を組み合わせた放送モデルの実現のために、下記項目に関し検討していく所存。</p> <p>(1) 広告収益型モデル</p> <p>① 地域連動自動入稿型広告事業</p> <p>② 視聴率測定による成功報酬型広告事業</p> <p>③ One to Oneマーケティング広告事業</p> <p>④ ユーザコミュニティ形成によるメディア事業</p> <p>(2) コンテンツ有料課金モデル(プッシュVOD等)</p> <p>(3) 番組連動型コマースモデル</p>
<p>4 その他</p>